

議題（3）海洋プラスチック削減の取組について

A. 背景

プラスチックごみによる海洋汚染は、地球規模で拡大している。プラスチックは、軽く、耐水性があり、安価であるため、生活の様々な場面で使用され、欠かせない素材として人間社会に存在している。しかし、プラスチックは、人工物で、基本的に自然に返ることができず、完全に分解されることはないため、環境中に残り続ける。5ミリ以下のプラスチックである「マイクロプラスチック」は、魚の体に入り、それを食べる人間の体にも入る可能性がある。

焼津市は、駿河湾沿岸の穏やかな気候に恵まれ、焼津漁港、大井川港を有し、水産業を起点に発展してきた。海の恵みを享受している本市として、海洋プラスチック問題に対し取り組んできた施策としては、プラスチックごみの分別回収の推進や、毎年11月に開催している海岸清掃「ビーチクリーン大作戦」である。

このように、分別推進によるリサイクルの取組や、環境美化の取組等「出口対策」は推進できているが、今後は、リデュースの取組（プラスチックごみをそもそも出さない「入口対策」）をより一層前進させることが、海洋プラスチック問題への解決への第一歩となり、水産都市である本市からの発信として重要になってくる。

そのためには、市民、事業者の御協力が欠かせないが、市民、事業者に如何に伝えていくかというところが課題となっている。

B. 第3次焼津市環境基本計画での位置づけ

- ・ P.52「取り組み方針4 廃棄物を減らすまち」の3 市の環境施策の一つに「『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律』に関して、使い捨てプラスチックの使用抑制、詰め替え商品の奨励、簡易包装の促進のほか、市民に分かりやすい分別ルールの普及啓発を行い、プラスチック資源収集量の拡大を図ります。」を重点施策に位置付けている。
- ・ P.53の4 市民・事業者の取り組みでは、「プラスチックごみを減らすため、使い捨てプラスチックの使用自粛、詰め替え商品や簡易包装の選択などを行います。」を重点取り組みに位置付けている。

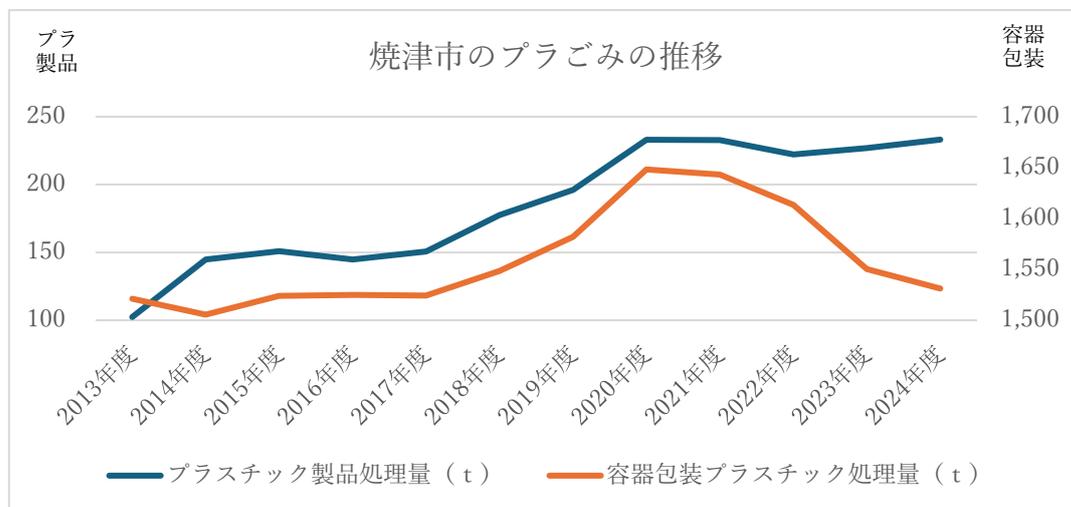
- ・ P.54「取り組み方針5 廃棄物が適正に処理されるまち」の3 市の環境施策の一つに「マイクロプラスチック問題の周知や、ペットボトル・プラスチックの適正処理に対する意識啓発を行います。」を重点施策に位置付けている。
- ・ P.55 の4 市民・事業者の取り組みでは、「海岸の漂着ごみの清掃やビーチクリーン大作戦に参加します。」を重点取り組みに位置付けている。

C. 令和7年度に取り組んだこと

- ・ 容器包装プラスチック、プラスチック製品の分別回収
- ・ 不法投棄防止のための監視、指導、啓発
- ・ ごみ減量説明会やごみ減量サポーター養成講座での啓発

（令和7年度は、9月27日開催の第3回で「SDGsから見る海洋プラスチック問題」をテーマに取り上げた）

- ・ ビーチクリーン大作戦の開催
- ・ 市ホームページのグリーンコンシューマーの記事の中で「レジ袋を減らす」「出掛けるときはマイボトルを持っていく」ことを啓発



D. 市民・事業者の取り組み事例

- ・ 静岡県立焼津中央高等学校

探究活動の一環として、「海洋ごみ問題」をテーマに探究。「海洋ごみ問

題」を広く啓蒙するために高校生有志が中心となり、海浜清掃を呼びかけ、併せて1時間に参加申し込みした人数で「ギネス認定」を行ったところ、世界記録に認定された。

・静岡県立清流館高校

「総合的な探究の時間（2年生）」で、身の回りの人たちを笑顔にする『スマイルプロジェクト』に取り組む。環境課にごみ減量の取組についてのインタビューや、焼津市が取り組んでいる古着回収を呼び掛けるポスターの作成と掲示をし、ビーチクリーンにも参加した。

・株式会社シモジマ

海洋分解性レジ袋を開発。1年後には水と二酸化炭素になり消滅する。袋に苦み成分を加え、魚の誤食を防ぐ工夫をしている。

E. 今後の取組

民間企業（地域貢献活動等）を活用して、子どもたちをターゲットとした取組を強化していく。

(参考)・サントリー ※連携協定締結企業

「ボトル to ボトル」水平リサイクルの推進の取組

・バンダイスピリッツ

「CLEAN OCEAN ACADEMIA」 海洋プラスチックごみを配合したプラモデルの組立て体験等を通して、サステナビリティに対する考えを育む無償の授業パッケージ

・アース・キッズチャレンジ

ごみの分別体験を通じ、家庭でエコリーダーとしてごみ減量に取り組んでもらう

F. 西島委員からのご提案（事務局として、海洋プラスチック問題を議題の1つに取り上げようと考えていたところ、西島委員からも別紙3のとおりご提案をいただきましたので共有いたします。）

①使い捨てプラスチックを使わない【市民】

②プラスチック製品やごみを適切に管理する【市民・事業者】

- ③上流域の自治体と連携する【行政】
- ④川から流出するプラスチックの実態を調べる【行政】

G. ご意見、ご提案をお願いしたいこと

上記のとおり、西島委員から既にご提案をいただいておりますが、リデュースの取組を中心に、こういった市の施策、市民・事業者の取組が考えられるのではないかとといったご意見、ご提案をお願いします。